



# わかば

2019. 4. 13  
第19-1号  
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

**教育目標** 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

**重点目標** **一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～(2年次)**

## 新年度のごあいさつ・・・校長 信國 寿敏(2年目)

昨年度は、本校教育へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、標題にもあるように、重点目標の「期待登校・満足下校」は、2年次を迎えました。「去年よりも今年、今年よりも来年へ」と、学校を活性化させたり発展させたりすることは、私の責務と考えています。

そこで、本年度はよりいっそうの「期待登校・満足下校」となるよう、大きく下記の2点に努力します。

<p>国語科の重点化を図り、「主体的、対話的で深い学び」に努めます。</p>	<p>昨年度末の「わかば」に記載していますが、日本国内の学校は校内研修を核にして、「主体的、対話的で深い学び」の具体化に取り組んでいます。</p> <p>しかし、週5日制の全日校が取り組む内容を、そのまま週一回だけの補習授業校にあてはめて実践することは無理があります。</p> <p>そこで、本校なりの「主体的、対話的で深い学び」の授業スタイルを下記のように定め、国語科に力点を置いた授業づくりに努めます。</p> <p>(1)教材の重点化</p> <p>①学習のめあてを持たせる。②学習の振り返りを図る。③ペアやグループなどで発表したり説明したりするようにする。④いくつかの重点教材を定め取り組む。</p> <p>なお、上記の①～③は、これまでも算数(数学)科では、比較的取り組んでいますが、その取り組みを国語科まで広げていこうとご理解ください。</p> <p>(2)授業時数の軽重</p> <p>上記のペアやグループなどの話し合い活動を核とする授業づくりは、一定の時間を要します。そこで、教科書の目次内容のうちからいくつかの配置時数を短くし、その分を重点教材の指導の配置時数に振り分けることがあります。</p>
<p>6時間授業日の有効的活用、機能化に努めます。</p>	<p>本校では、年間に10回程度の6時間授業日を設けています。昨年度は、暑い時期や通常の5時間授業と異なり1時間多い分だけ、児童生徒は一日を長く感じ、学習意欲は決して高いとは言えませんでした。</p> <p>そこで、本年度は6時間授業日を月ごとに分散する工夫を行いました。また、学級や学部の裁量で20分程度の集会活動や話し合い活動等ができるようにしました。</p> <p>例えば、「学級の歌を作ろう」「学級の旗を作ってカフェテリアに掲げよう」「学年集会をして仲良くなろう」「幼稚部を訪問して一緒に〇〇を作ろう」「先輩の授業をのぞいてみよう」など、教師や児童生徒の柔軟な発想で6時間授業日の有効化、機能化を図り、よりいっそうの「期待登校・満足下校」につなぐことができると願っています。</p>

## 無事に卒園式、卒業式を終えることが出来ました。・・・平成31年3月23日(土)

**【卒園式】** 運動会や学芸会等の大きな行事や日々の製作活動、日本の伝統文化を体験する活動などを通して、楽しく学んできた園児たちが無事に卒園しました。飛鷹教育委員長からのお祝いの言葉をいただき、誰もが嬉しそうでした。4月からは、誰もがピカピカの一年生になります。

**【卒業式】** ポートランド日本人学校に編入してまもなく卒業をする者、幼稚部から13年間通い卒業する者など、それぞれの違いはありますが、送辞や答辞から本校への思い出は深いことがよくわかりました。送辞、答辞ともに実に心がこもったもので、聞き入ってしまいました。

ご来賓の総領事、寺岡敬様や日本人商工会長、関根代伍良様からの温かなご祝辞をしっかりと心に刻み、巣立っていきました。

※素晴らしい卒園や卒業の会場の準備、放送等に携わっていただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



心を込めて「上げば尊し」を歌う卒業生

しっかりと卒業証書を手にした卒業生



卒業証書授与



来賓祝辞 総領事 寺岡 敬 様



日本人商工会長 関根 代伍良 様

## 中高等部の6時間授業日の時制が変わります。・・・※小学部は、これまで通りです。

小学部は、学級担任制ですので、学習の進み具合では学習時間や休み時間を臨機応変に調整することが可能です。一方、中高等部は教科担任制で、学習時間や休み時間を延ばしたり縮めたりすれば、生徒たちの教室移動、トイレ時間等に影響しますので、確実な休み時間の確保が大事です。

そこで、下記の通り、これまでの中高等部の5分間の休み時間を10分間に改め、休み時間を確実に確保できる新しい6時間授業日の時制を行いますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

	これまでの中高等部の6時間授業日	中高等部の新しい時制(6時間授業日)
ホームルーム	9:00 ~ 9:10 (10)	9:00 ~ 9:10 (10)
1時間目	9:10 ~ 9:55 (45) 5分休み	9:10 ~ 9:55 (45) 10分休み
2時間目	10:00 ~ 10:45 (45)	10:05 ~ 10:50 (45)
【中休み】	10:45 ~ 11:00 (15)	10:50 ~ 11:00 (10)
3時間目	11:00 ~ 11:45 (45)	11:00 ~ 11:45 (45)
【ランチ・昼休み】	11:45 ~ 12:35 (50)	11:45 ~ 12:30 (45)
4時間目	12:35 ~ 13:20 (45) 5分休み	12:30 ~ 13:15 (45) 10分休み
5時間目	13:25 ~ 14:10 (45) 5分休み	13:25 ~ 14:10 (45) 10分休み
6時間目	14:15 ~ 15:00 (45)	14:20 ~ 15:05 (45)
ホームルーム	15:00 ~ 15:15 (15)	15:05 ~ 15:20 (15) ※これまでより5分延びます。

## 新元号「令和」の取り扱いについて・・・5月1日から令和元年が始まります。

4月1日に、新元号「令和(れいわ)」が、閣議決定され公表されました。

万葉集にある「初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す」の文言から引用したものです。そして、この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、と言う意味が込められています。

(「平成三十一年四月一日 内閣総理大臣談話」から抜粋)

国外に在住する者には、やや元号は縁遠いものかもしれませんが、本校の教育目標にもある「帰国後、・・・」や日本の伝統文化に親しむことを考慮すれば、児童生徒には、是非、伝えておきたい改元かと思えます。

文部科学省からは、「改元に伴う元号による年表示の取り扱い」の通知が、在外教育施設である本校を含めた全ての補習授業校、日本人学校等々にありました。

つきましては、5月1日以降からは、平成31年を「令和元年」、平成31年度を「令和元年度」とあらためますので、よろしくお願い致します。

